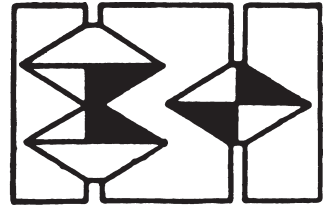


# 第218号

〔発行〕  
令和5年10月22日

〔発行所〕

〒600-8009  
京都市下京区四条通室町東入  
京都商工会議所内  
京都珠算振興会  
☎075(353)7124 〆075(353)7125



京都府選手団の成績は、ジュニア部門で浅井薫選手が満点で、日本一決定戦進出者決定戦も勝ち抜き、初出場で日本

4年ぶりに午前からの通常開催となった、そろばんグランプリジャパン2023が7月23日に兵庫県の神戸常盤アリーナ（県立文化体育館）で開催された。京都からは、推薦選手と自由参加選手の合わせて10名が出場した。大会1週間前の7月16日には、強化練習会を実施しました。

大会は、総合競技（1回戦・日本一決定戦進出者決定戦）、よみあげ算競技、フラッシュ暗算競技、よみあげ暗算競技、総合競技（そろばん日本一決定戦）と進められ、それぞれの競技部門での日本一が決定した。（成績の詳細は、日本珠算698号に記載）

一決定戦に進出した。スクール部門では、三原智輝選手が500点でスクール部門では初、小学校6年以來、5年ぶりの日本一決定戦進出となった。また、シニア部門では、今年から部門が変わり、4年ぶりの出場となった磯貝勇誠選手が出場していた2018年、2019年に続く、3回連続の満点で、シニア部門では、初の日本一決定戦に進出を果たし、京都としては、5年ぶりに全部門、日本一決定戦の進出となった。

日本一決定戦は、今回から実施種目が暗算種目、そろばん種目の順に変更となり、今までと異なる展開となることも想定され、これに選手がどのように対応するかも見どころの一つとなっていた。

京都勢は、ジュニア部門の浅井薫選手は、健闘したものとみとり算、みとり暗算でミスが重なり12位となった。スクール部門の三原智輝選手もみとり算、みとり暗算のミスが響き、9位に終わった。シニア部門の磯貝勇誠選手は、暗算種目で上位につけ、4種目目のかけ算でトップに立つと、その後のわり算・みとり算を冷静に対応し、300点満点、計算速度も1位となり、ジュニア部門・スクール部門とも届かなかった、初のそろばん日本一に輝いた。

来年も全ての部門で日本一決定戦に進出する選手が出るとともに、日本一決定戦での活躍を期待したい。

種目別競技は、昨年度と全く同じ展開となった、よみあげ暗算では本間聖康選手が、昨年日本一の園田柚子選手（埼玉県）との競り合いを制してリベンジを果たし、4年ぶり3回目の日本一を獲得した。

また、フラッシュ暗算で磯貝勇誠選手が5位に入賞した。

今年、よみあげ算が1時間を超える熱戦となった影響で、終了が予定を大きく超えることとなった。これ自体は、出場選手の熱戦の影響であり仕方がないと思う。ただ、途中で会場を後にした選手が多くおられた。表彰式で日本一や入賞者を称えることは、とても大切であり、必要ではあるが、今年のように大幅に競技時間が伸びた場合は、昨年の表彰式のように、各部門、各種目の日本一の表彰のみに簡略化するなど、柔軟に対応することも必要ではないかと感じた。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、4年ぶりに通常通り、そろばんグランプリジャパンが無事に開催できたことは、万全の準備をしていた、日珠連の競技企画部会の委員の先生方をはじめとする、関係の先生方のおかげであり、感謝申し上げます。

また、フラッシュ暗算で磯貝勇誠選手が5位に入賞した。

今年、よみあげ算が1時間を超える熱戦となった影響で、終了が予定を大きく超えることとなった。これ自体は、出場選手の熱戦の影響であり仕方がないと思う。ただ、途中で会場を後にした選手が多くおられた。表彰式で日本一や入賞者を称えることは、とても大切であり、必要ではあるが、今年のように大幅に競技時間が伸びた場合は、昨年の表彰式のように、各部門、各種目の日本一の表彰のみに簡略化するなど、柔軟に対応することも必要ではないかと感じた。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、4年ぶりに通常通り、そろばんグランプリジャパンが無事に開催できたことは、万全の準備をしていた、日珠連の競技企画部会の委員の先生方をはじめとする、関係の先生方のおかげであり、感謝申し上げます。

また、フラッシュ暗算で磯貝勇誠選手が5位に入賞した。

今年、よみあげ算が1時間を超える熱戦となった影響で、終了が予定を大きく超えることとなった。これ自体は、出場選手の熱戦の影響であり仕方がないと思う。ただ、途中で会場を後にした選手が多くおられた。表彰式で日本一や入賞者を称えることは、とても大切であり、必要ではあるが、今年のように大幅に競技時間が伸びた場合は、昨年の表彰式のように、各部門、各種目の日本一の表彰のみに簡略化するなど、柔軟に対応することも必要ではないかと感じた。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、4年ぶりに通常通り、そろばんグランプリジャパンが無事に開催できたことは、万全の準備をしていた、日珠連の競技企画部会の委員の先生方をはじめとする、関係の先生方のおかげであり、感謝申し上げます。



# 令和5年度 全日本珠算選手権大会

グランプリから約2週間後の8月8日に国立京都国際会館で令和5年度全日本珠算選手権大会がこちらも4年ぶりに通常通り、開催された。京都府珠算振興会からは、5名の選手が出場した。

そろばん日本一には、3人による100点満点での同点決勝を制し、土屋宏明選手（宮城県）が自身が持つ最多優勝記を更新する4年ぶり11回目の日本一となった。また、小学生そろばん日本一は、高嶋優選手（千葉県）が磯貝勇誠選手以来の2年連続の小学生日本一を、辻窪凜音選手（埼玉県）以来の100点満点で獲得した。京都府の選手は、磯貝勇誠選手が100点で22位、三原智輝選手が100点で37位に入賞した。

種目別競技は、フラッシュ暗算は、辻窪凜音選手（埼玉県）が3桁15口15秒で初優勝、読上暗算競技は、久保新選手（北海道）が1題目の5桁以上16桁を正答し、3連覇、読上算競技は、浅野貴広選手（北海道）が初優勝を果たした。

京都府の選手では、本間聖康選手が読上暗算で昨年度に続き、2題目の5桁以上15桁を正答し、2位に入賞した。

都道府県対抗競技は、千葉県が優勝した。

両方の大会とも、4年ぶりに午前中から、通常どおりの開催となった。この日のために練習し、全国から多

くの選手が、一堂に会し、日本一を競う全国大会が開催できたことは、とてもよかったですと感じている。

来年以降も、振興会のたくさんの方の選手が、全国大会に出場できるように、地元での大会や全国あんさん・そろばんコンクールに積極的に参加して欲しいと思う。

京都府選手団監督 競技委員会  
木下 卓巳

そろばんグランプリジャパン  
シニア部門そろばん日本一を  
獲得して



西京都学院 京都大学1回生  
磯貝 勇誠

グランプリは、今まで多くの悔しい思いをしてきた大会なので、そこにかける思いは特別なものがありました。グランプリ大会に優勝するには満点を取り続けることが必要であり、満点を取ることが苦手だった私にとってグランプリは優勝することが非常に難しい大会だと感じていました。

小学生の時は一度も日本一決定戦に進出することができず、中学生の時も日本一決定戦でミスをしてしまい、優勝には届きませんでした。

私が小学生の時は一つ上の永井友也君が毎年のように日本一決定戦に出場していて、羨望の目で観戦していたのを覚えています。中学生の時

には京都のジュニアの選手が日本一

決定戦にしっかり駒を進めて競技しているのを見て、自分も頑張らねばとやる気をもっていました。優勝することはできませんでしたが、

高1、高2は大会が中止、そして高3の時は受験勉強で出場していませんでした。今年の大会は4年ぶりの出場となりました。

高3の1年間は大会に出ていなかったのですが、大会の様子を時々YouTube配信で見ました。高3の時に開かれたグランプリ大会では、ジュニア部門の竹内幸希君と高橋風介君が2、3位に入賞しているところを見て、頼もしいなと思うと同時に、来年は自分が優勝したいとも思っていました。

受験が終わって練習を再開した時、自分のスピードがかなり落ちていことに気づきました。練習時間を増やしてスピードを戻さないといけないところだったので、大学が始まり、部活やバイトもあつて、なかなか練習時間が確保できていませんでした。

グランプリに向けて本格的に練習を始めたのは一週間前でした。大学生ではあるのですが、グランプリの時期と大学の試験の時期が被っていたので、短い時間で効率を求めた練習をしました。大会一週間前の京都の強化練習会と大阪の合同練習会に二日連続で参加させて頂き、そこで多く練習することができたおかげで、感覚を取り戻せたように思います。京都の練習会の時点で、予選でしっかりやれば満点を取れるはずの種目で失点をしてしまっ

たり、日本一決定戦も多くの種目で失点していました。日本一決定戦の練習は採点を高橋先生にしていたのでいたのですが、ジュニア部門の高橋風介君が失点をしてしまった時の高橋先生の厳しいお言葉に私自身も「適当にやって失点してる場合ではない」という気になり、満点を意識した練習をすることができて感謝しております。また、練習会の際に配られた歴代の京都の選手の日本一記録が書かれた表に自分の知っている名選手の名前が連なっているのを見て、自分もこれに続きたい、とモチベーションが高まりました。

大会数日前からは日本一決定戦の練習をメインにして、昨年の辻窪凜音選手のタイムを意識しながらやっていました。辻窪凜音選手は珠算種目のスピードが圧倒的に速く、もし今年部門が一緒だったら戦い方は少し違っていたと思います。

当日は選手宣誓をさせて頂くことになり、再び大会会場に戻って来れたことに感謝と喜びの気持ちを抱きながら、宣誓をさせて頂きました。

予選はみとり暗算は加減算のみ見直して、他の種目は全問見直ししました。結果無事満点を取ることができました。結果無事満点を取ることができたので、ジュニア部門とスクール部門の日本一決定戦進出者のことが気になりました。満点を取るだろうと思っていた高橋風介君が

決戦におらず、心配になって聞きに行ったところ一問失点があったというのでとても悔しがっていて、自分が小学生の頃を思い出して、やるせない気持ちになりました。ジュニア



部門はやはり厳しい部門だと実感するとともに、ここは自分が頑張らなければとも思いました。

午後になり、ジュニア、スクール、シニアの順に日本一決定戦が行われました。ジュニア、スクールの日本一決定戦が行われている間は自分の日本一決定戦の練習をしていたので、詳しくは見れていないのですが、浅井薫君と三原智輝君の頑張りを見て自分もよし、頑張ろうという気持ちになりました。

決勝では1番拳手することを目標にしつつ、間違えないようにしながら自分のペースでやることを心がけました。最終種目のみとり算でスピード対決をすることになると、恐らく25秒〜30秒程度で計算しないといけないくなり、間違える可能性が高くなるので避けたいと思いました。なので、満点を取りつつ、できればわり算までにタイム差を開くことができればとも思っていました。みとり暗算、わり算終了時点でタイム差があったので、みとり算は制限時間を丸々使って、満点を取りにいきました。指で数字をなぞりながら計算しましたが、緊張で指が震えました。点数発表で50点と発表された時、初優勝だったので、純粹に嬉しかったです。

今回優勝できたのは、一つはよみあげ暗算日本一を獲得された本間聖康選手からアドバイスを頂いたことで、戦略を考えて楽しみながら競技できたことが大きかったと思います。また、2つの練習会に参加させて頂いたことも非常に有意義でし

た。先生方には心より感謝申し上げます。3つ目には後輩選手の存在があつたからだと思えます。過去の自分と重なる選手の存在や後輩選手の頑張りがあつたからこそ、自分の精神状態をベストに持っていくことができました。今回自分の思うようにいかなかった選手も、失敗あつてこそ成功だと思つたので、粘り強く頑張つてほしいなと思つました。

最後になりましたが、練習プリントを準備してくださったり、練習会を開いてくださった先生方、グランプリに関わってくださった全ての関係者の皆様、応援してくださった方々、一緒に切磋琢磨していただいている選手の皆様には感謝申し上げます。ありがとうございます。

これからも未熟なところばかりではありますが、自分のできる限り頑張つていこうと思つています。どうかよろしくお願いいたします。

そろばんグランプリジャパン  
よみあげ暗算 三度目の日本一を  
手にして

西京都学院(岩手県・盛珠算クラブ)

立命館大学3回生



本間 聖康  
今年のグランプリ大会は私自身にとつてよみあげ暗算競技3

回目の日本一獲得がかかった大会でした。昨年は3連覇がかかった中、優勝を逃してしまい、非常に悔しかつ

たため、今年にかける意気込みは昨年以上のものがありました。そのため、大会の1.5ヶ月くらい前から勝ち残り方式の練習を徹底的に開始し、電車やバスの移動中といった隙間時間も音声を使って練習するような毎日を繰り返しました。振り返れば、あらゆる時間を使い、一分の隙なく練習していたかと思えます。しかし、順調には進まず、本来なら余裕を持つてできるはずの13、14桁で間違ふことが多く、練習を重ねる毎に不安の占める割合が大きくなり、正直泣いてしまったこともありました。

そんな日々の繰り返しの中、迎えた本番。最初の予選5問は難なく突破できました。次の問題からは1算落としたため、1題ごとに正答を続けている選手が何人いるか把握出来ませんが、あえて周囲を見るといったことはせず、自分の世界に没頭し、結果は一旦無視して出題された問題を確実に合わせるイメージで1題1題取り組みました。(1番前の席で周りが見えにくいのがラッキーだったのかもしれない)途中12桁でマインナスになった時はゾツとしましたが、これも無事に正解。とうとう13桁になり、10口の正答者が2名。私と去年の優勝者、園田柚子選手でした。次は13桁15口。一瞬優勝の2文字が頭をよぎりましたが、上手く問題を計算することに意識を向けることができました。結果、確信のある答えを出すことができ、優勝することができました。想定では15桁で決着だろうと考えていたので、意外な展開でした。自分の結果はもちろん

ですが、磯貝勇誠君と合わせて京都府勢として合わせて2つタイトルを獲得できたこともとても嬉しかったです。本番までにたくさん悔しい思い、辛い思いをしてきました。それでも周りの期待に応えたい、最後まで絶対に諦めないという思いで取り組んだことが今回の結果につながったのかと思います。これまで約14年間指導してくださった育ての先生でもある新沼先生、京都に来てから指導・お世話になつていられる寺田先生をはじめ、応援してくださる皆様、大会関係者の全ての皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

グランプリ大会は今回で3度目の優勝となりましたが、一番狙っている全日本大会はまだただの一度も優勝したことが無く、今年も昨年同様全く同じ記録で2位となつてしまいました。新沼先生からも「グランプリと全日本を制してこそ本物」と昔から言われているため、まだまだ力不足と言わざるを得ません。今後はグランプリ大会の4度目の優勝はもちろん、全日本大会での優勝を第一目標としつつ、これの障壁となつている16桁15口の正答率向上、さらにその先の17、18桁以降は今以上に定着してできるよう、一層頑張りたいと思つています。



### 令和5年度第2回例会

9月10日(日)の午後2時45分から、各委員会からの事業経過と予定の報告が以下の通りありました。

総務委員会からは堀井龍造常務理事から、会報28号を10月22日に発行予定で、9月26日から会報委員会を行います。本日の親睦会は19名の参加です。馬場悦子先生がしばらく事務局をお休みされます。近畿そろばん連合の総会の報告がありました。収支予算では結構PR費が使われています。

検定委員会からは河合憲一常務理事から、10月検定の申込みの締切が上級が9月11日・12日で下級が10月2日・3日ですのでよろしく願います。審査の出欠の返事も願います。日珠連の検定料が来年度よりアップされる予定です。京都も4月よりアップの予定です。日珠連のホームページのフラッシュ暗算のページがありますのでダウンロードしてください。日本伝票算検定協会からの合格鉛筆2本が配布される。

塾経営広報委員会からは瀧山善夫常務理事から優良生徒表彰式が2月18日(日) 東部文化会館で予定してあります。10月22日から申込み用紙を配布します。締め切りは12月11日です。1月5日の北野天満宮での新春はじき初めは全珠連が辞められたので珠算振興会単独で実施しま

すのでよろしく願います。

競技委員会からは寺田剛大常務理事から、第67回の塾生珠算競技大会を11月3日の午後15時に会場で実施します。申込み締切は9月21日～27日です。多くの塾生の参加をお願いします。2023年全国そろばんコンクールを11月20日～12月3日の間に各塾で行ってください。結果は12月5日までに成績の提出をお願いします。7月23日のそろばんグランプリジャパン2023は、シニア部門総合競技で磯貝勇誠選手が日本一に、種目別競技ではよみあげ暗算競技で本間聖康選手が日本一になりました。磯貝勇誠選手の競技の状況のビデオを鑑賞しました。今年のちびっこそろばんフェスティバルは中止となりました。

事務局からは渡部京子先生から、10月検定の出欠の返事をお願いします。塾生大会とそろコンの案内・申込みのデータが必要な人は事務局より送ります。近団連のブロック懇談会11月5日と岸和田珠算協会の講習会の案内がありました。小学校支援事業の案内と申込書を入れていきます。申込みは講師が直接受けられないように、学校から事務局へ申し込みをするようにして下さい。講師料は1人1日3,000円をお願いしていますが日珠連の会員表彰の伝達表彰が行われました。

総務委員会

### 親睦会

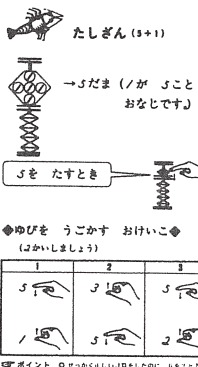
令和5年9月10日(日) 午後6時より、僧伽(さんが)小野京都新町別邸に於いて、参加者19名での親睦会が行われました。



京都商工会議所会員部柴隆利部長の挨拶をいただき、谷口孝男副会長の乾杯からはじまり、美味しいお食事と和やかな歓談の時間となりました。また、児島宏尚専務理事より寄贈していただいた豪華なお菓子や、京都珠算振興会からのクオカードをかけてのビンゴゲームで盛り上がり、入江実副会長の閉会の挨拶で終宴となりました。

総務委員会

ちびっこ 0 18頁



### 目と指で、イメージ学習 ちびっこそろばん(0)~(11)

難しい理屈は大の苦手でも、子どもたちは物事をイメージで捕えて、体で覚えることは得意です。目で覚え、指で理解することの大切さ。ちびっこそろばんシリーズはこの点に着目した業界初の園児でも学習可能な初歩教材です。豊富な図解に的確な指導要領——分かりやすい教材は、また教えやすさの証明です。類似書の追隨を許さぬ高いシェアを誇ります。特に重要な入門段階では、復習用にプリント集もございます。



B5判 48頁・定価 ¥300

佐藤出版株式会社 ☎(0532)45-5956・FAX 48-4653



# トキコエテ

## そろばん

「そろばん」は、人々の生活に深く根ざった存在だ。かつては、算盤の普及とともに、そろばんの需要も高まった。しかし、デジタル技術の発達とともに、そろばんの需要は減少傾向にある。しかし、近年、そろばんの需要は再び高まっている。これは、デジタル技術の普及とともに、そろばんの需要も高まっている。これは、デジタル技術の普及とともに、そろばんの需要も高まっている。これは、デジタル技術の普及とともに、そろばんの需要も高まっている。

# AI時代「ご名算」求め



そろばんの仕組みを端末で再現した「そろばんタッチ」教室（7月、東京都千代田区）

## 珠はじき 育む集中力

珠はじき（そろばん）は、約4000年前の中国で発明された。江戸時代、小石並ぶに算盤を引くのが得意だった。江戸時代、小石並ぶに算盤を引くのが得意だった。江戸時代、小石並ぶに算盤を引くのが得意だった。江戸時代、小石並ぶに算盤を引くのが得意だった。

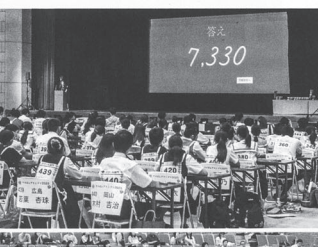
普及・南金洋行のソニーが算盤の歴史について、導入した。普及・南金洋行のソニーが算盤の歴史について、導入した。普及・南金洋行のソニーが算盤の歴史について、導入した。普及・南金洋行のソニーが算盤の歴史について、導入した。

# メディア情報 1

日本経済新聞 2023年8月17日(木)

# そろばんグランプリ2023

## 全国から猛者が集結 頂上対決は時間勝負の大接戦



日本種会議所（二）高校生（シニア）一般社団法人日本珠算連の3部門に分かれ、開催は7月29日、兵庫県神戶市の神戸常盤アリーナにて「そろばんグランプリ2023」を開催した。大会には全国各地から都道府県大会を勝ち抜いた368人が集結。シニア（小学生以下）、「かけ算」「わり算」「みどりの暗算」「わり算」「わり算」種目、熱い戦いが繰り出された。

そろばんグランプリジャパン2023 部門別・種目別日本一（敬称略）

総合ジュニア	降矢 才	才 聡
総合スクール	辻 健	深 音
総合シニア	磯貝 勇	磯貝 勇
よみあげ暗算	本間 聖	本間 聖
よみあげ算	西 純	西 純
フラッシュ暗算	小川 理	小川 理
	杵川 日向	杵川 日向

ル18、シニア12人が出場。熱戦の結果、シニア部門は降矢才聡選手、秋田市の高清水小学校。スクール部門は辻健選手、磯貝勇選手が日本一に輝いた。また、全員参加の稲田大学系属稲田実業学校高等部、シニア部門は磯貝勇選手が日本一に輝いた。また、全員参加の稲田大学系属稲田実業学校高等部、シニア部門は磯貝勇選手が日本一に輝いた。

# メディア情報 2

会議所ニュース 2023年9月1日(金) (日本商工会議所 発行)

都道府県大会を勝ち抜いた368人が集結

シニア部門日本一に輝いた磯貝選手

# 2023年 全国あんざんコンクール 京都大会成績 金賞入賞者一覧

令和5年7月実施 申込者数 223名 参加者数 220名

①小学校1年生以下の部(8名)	1170 古荘 れあ (ア イ)	1420 井爪惺太郎 (伸 童)	1505 上原 寛正 (ア イ)
1160 澤 桜生 (脳 育)	1170 小西 陽 (ア イ)	1395 井上 優里 (醍 醐)	1490 鈴木 楓菜 (ábaco)
1010 齋藤 実佳 (ábaco)	2023年京都 銀賞 915 以上	1385 桑名 芽生 (ア イ)	1435 伊原 莉菜 (浦)
2023年京都 銀賞 800 以上	2022年全国 100位 1460	1380 杉蔭 一希 (脳 育)	1410 林 歩咲 (脳 育)
2022年全国 100位 760		1345 中尾 陽葵 (荒 井)	1380 松島有希乃 (醍 醐)
②小学校2年生の部 (3名)	1755 佐藤 光 (ア イ)	1340 木村 浩貴 (ábaco)	1370 矢田 正鷹 (桃 南)
1025 松原 怜誠 (北 山)	1675 山本 穂花 (脳 育)	1300 寿野 楓 (北 山)	1370 中尾 和奏 (荒 井)
2023年京都 銀賞 750 以上	1620 風間 芽奈 (醍 醐)	2023年京都 銀賞 1010 以上	2023年京都 銀賞 1115 以上
2022年全国 99位 1095	1615 尾崎 敦啓 (脳 育)	2022年全国 100位 1600	2022年全国 99位 1635
③小学校3年生の部 (17名)	1600 民谷萌々香 (醍 醐)	⑦中学校1年生の部 (29名)	⑨中学校3年生の部 (6名)
1520 河井 七翔 (ア イ)	1600 吉井 晨悟 (ábaco)	1795 久野 凌佑 (西京都)	1800 矢ヶ部菜月 (脳 育)
1510 眞島 凜 (脳 育)	1310 前田 蒼空 (醍 醐)	1755 竹谷 快斗 (醍 醐)	1600 矢田部結衣 (猪 熊)
1295 柴田 明莉 (北 山)	1290 井上 瑠香 (脳 育)	1745 尾崎 壮祐 (脳 育)	2023年京都 銀賞 1180 以上
1270 上甲 颯大 (脳 育)	1260 久世倫太郎 (猪 熊)	1680 山本 柚葉 (脳 育)	2022年全国 99位 1580
1140 森田 桜香 (北 山)	1245 高木 櫻 (脳 育)	1550 伊藤 睦 (醍 醐)	⑩高校生の部 (9名)
2023年京都 銀賞 915 以上	1210 前川 晃成 (猪 熊)	1475 原田 優希 (猪 熊)	1800 三原 智輝 (西京都)
2022年全国 100位 1345	1205 村尾 聡亮 (ア イ)	1450 小川 紗波 (ábaco)	1725 橋本 樹 (脳 育)
④小学校4年生の部 (29名)	1150 五十井和香 (ア イ)	1450 原 祐里 (脳 育)	1710 喜多 桃香 (入 江)
1600 高山 開智 (脳 育)	2023年京都 銀賞 970 以上	1400 長谷川由衣 (醍 醐)	2023年京都 銀賞 1465 以上
1545 松中 悠太 (ábaco)	2022年全国 98位 1525	1400 米田 泰輝 (猪 熊)	2022年全国 100位 1685
1330 斉藤 壮汰 (北 山)	⑥小学校6年生の部 (39名)	2023年京都 銀賞 1105 以上	⑪一般の部I (50歳未満) (6名)
1285 中村 遥太 (ア イ)	1785 高橋 風介 (ábaco)	2022年全国 98位 1625	1795 本間 聖康 (西京都)
1285 蟹江 紬 (誠珠会)	1770 矢ヶ部椎菜 (脳 育)	⑧中学校2年生の部 (35名)	1790 河野 翔太 (猪 熊)
1240 井上 斗里 (醍 醐)	1670 鈴木 淳哉 (ア イ)	1775 三原 駿介 (西京都)	1785 土生 桃子 (ア イ)
1215 芦田 眞依 (伸 童)	1595 松本 愛弓 (ア イ)	1550 北山 隼 (入 江)	2023年京都 銀賞 1675 以上
1180 水上 拓真 (北 山)	1445 松井 嶺 (醍 醐)	1545 齋藤虎之介 (ábaco)	2022年全国 100位 1675
1175 尾藤 佑飛 (ア イ)	1430 宮島 彩夏 (ア イ)	1505 今井 順也 (北 山)	⑫一般の部II (50歳以上) (0名)
			2022年全国 53位 280

## 一級合格 第28回珠算検定試験

令和5年7月2日(日)

(注)ゴシック字は満点合格者

伊原莉菜(浦) 桑名芽生(アイ) 今井風歌(北川) 下津結菜(高野修学院) 高安陽斗・松村拓真・坂本悠登・田保新汰・前田蒼空・井上斗里・藤川真綾・木谷沙稀・勝本悠里・中島亜依美・大塚美咲・伊藤睦(醍醐) 小寺里奈・高橋実夢・宇山蒼空・松本絢捺・岡田桃華・鈴木智成(西京都) 石田藍之佑・神谷悠斗・河邊心華・月本喜久・成瀬正太郎(西京都) 安井・高雄) 片山菜生香(橋木村浩貴(ábaco) 稲葉直治郎・安島康晴・米田泰輝・前川晃成・船木晴元(猪熊) 舟木由梨・前田凜人・龍頭杏奈(ねこだんご) 下野桃花(誠珠会) 杉本琳都(北山) 谷内穂・金木宏太・眞島凜・白鳥心陽・工藤颯人(脳育) 畠中心春・高橋香凛・中野秀翔・石塚妃奈(楠本) 中野璃乃(木幡平尾) 小倉実桜(桃南) 亀井祥帆(伸童) 星井しのめ・真常寛太(高橋) 小川瑠唯(橋根) 近藤大翔(入江)

第282回暗算検定試験  
令和5年7月2日(日)  
焼岡幸太郎・中村遥太・桃井小町・尾藤佑飛・村尾紗奈・家村叡瑠・中根沙南(アイ) 水上拓真・宮川葵咲(北山) 谷内朔・工藤颯人(脳育) 亀井祥帆(伸童) 杉田希真・前田蒼空(醍醐) 西村圭翔(木幡平尾) 廣嶋優伍(荒井)

第283回暗算検定試験  
令和5年8月27日(日)  
田中愛莉・坂本悠登(醍醐) 富樫里穂(北山) 川島潤之輔(白梅町) 上村理久・寺西美桜・野間愛ノ介(誠珠会)

第41回伝票算検定試験  
令和5年8月27日(日)  
細川優風・近藤大翔(入江) 山下彩花・柴原綾音(桂川) 田中志穂・東谷叡(余田) 宮崎絵梨・福留大和(荒井) 服部





上優里・鈴木楓葉・桑名芽生・石田駿  
 準二段(八名) 長谷川由衣・松島有  
 希乃・濱田悠生・林蓮太・小川紗波・  
 井上瑠香・梅谷一稀・真島凜  
 初段(十三名) 中西秀太・村上愛佳・  
 原田六花・高田郁斗・矢橋央脩・高井翔  
 太郎・寿野楓・藤野百優・橋本紗希・金  
 木宏太・神原和真・谷内穂・山本拓未  
 準初段(九名) 筒井繪菜・早川璃子・  
 日下部蓮・内田一平・高木櫻・中尾陽葵・  
 畠中心春・木村浩貴・原祐里

会員消息

お悔やみ

上田 幸子 先生 1号A  
 宮本 義宜 様  
 西田 久美子 先生 ご尊父

事務局 日誌

七月二日

一. 第228回1級〜3級、第149回準  
 1級〜準3級、第42回4級〜10級  
 珠算能力検定試験、第262回段検・1  
 級〜10級暗算検定試験、第138回段位  
 認定試験実施  
 一. 第1回役員会  
 1. 6月検定の報告と反省 2.  
 8月検定について 3. 2023  
 年度全日本ユース珠算選手権大会  
 の報告 4. そろばんグランプリ  
 ジャパン2023予選会の報告と反  
 省 5. そろばんグランプリジャ  
 パン2023本大会について 6.  
 2023年京都カップ珠算競技大会  
 の報告と反省 7. 2023年全国  
 あんさんコンクールについて 8.  
 2023年近畿連合総会・研修会・  
 懇親会の報告 9. 2023年度近  
 団連総会について 10. 9月例会時  
 の研修会について 11. 9月例会及  
 び会員親睦会について 12. 会報第  
 217号発行について 13. 京(みやこ)

わくわくのトビラ(土曜塾)開催に  
 ついて 14. 2024年新春そろば  
 んはじき初めについて 15. その他  
 一. 会報第217号発行  
 七月三日〜七月十六日  
 一. 2023年  
 全国あんさんコンクール開催  
 七月六日  
 一. 第1回近団連伝票算検定委員会  
 於 大阪珠算協会事務局  
 七月十一日  
 一. 京都府珠算連盟連合会  
 令和5年度定時総会  
 (書面決議にて実施)

七月十六日

一. そろばんグランプリジャパン  
 強化練習会  
 於 職員会館かもがわ  
 七月十九日  
 一. 日珠連第2回珠算振興部会  
 (Zoomによるオンライン会議)  
 七月二十三日  
 一. そろばんグランプリジャパン  
 2023  
 於 神戸常盤アリーナ

七月三十日

一. 全国あんさんコンクール決勝  
 於 京都商工会議所7F  
 八月二十日  
 一. 第3回検定委員会  
 1. 8月検定について  
 八月二十七日  
 一. 第10回準1級〜準3級、第43回4  
 級〜10級珠算能力検定試験、第30回段  
 検・1級〜10級暗算検定試験実施  
 一. 第2回役員会  
 1. 8月検定の報告と反省 2.  
 10月検定について 3. そろばんグ  
 ランプリジャパン2023(兵庫)  
 の報告 4. 2023年全国あん  
 さんコンクールの報告と反省 5.  
 2023年全国そろばんコンクール  
 について 6. 第67回塾生珠算競技

七月十九日

大会について 7. 第27回ちびっ子  
 そろばんフェスティバルについて  
 8. 令和5年度優良生徒表彰式につ  
 いて 9. 9月会員親睦会について  
 10. 会報第218号発行予定について  
 11. 令和6年度、7年度役員改選に  
 ついて 12. 2024新春そろばん  
 はじき初めについて 13. 令和5年  
 度小学校支援活動珠算講師派遣につ  
 いて 14. 9月例会後の研修会につ  
 いて 15. その他  
 九月十日  
 一. 第1回常務理事会  
 於 京都商工会議所4F・H  
 一. 委員会  
 1. 第6回総務委員会  
 1. 第4回検定委員会  
 1. 第2回競技委員会  
 1. 第2回塾経営広報委員会  
 一. 各委員会の事業経過と予定報告  
 一. 研修会  
 1. インボイスについて  
 講師 堀井 龍造 先生  
 一. 夏の親睦会 参加19名  
 於 僧伽(さんが)小野京都新町別邸  
 九月十六日  
 一. 日珠連第41回見学研修会  
 於 東京都大田区「アバカスタジオ」  
 九月十七日  
 一. 日珠連第3回珠算振興部会  
 於 東京都大田区  
 一. 2024年新春そろばんはじき  
 初め打ち合わせ  
 於 猪熊珠算教場  
 九月二十二日〜十月一日  
 一. 第81回きんきベスト100実施  
 九月二十六日・十月三日・  
 十月・十四日  
 一. 第7・8・9・10回総務委員会  
 1. 会報218号校正について  
 十月十一日  
 一. 2024年新春そろばんはじき

初め打ち合わせ

十月十二日

一. 第2回近団連伝票算検定委員会  
 於 大阪珠算協会事務局  
 十月十五日  
 一. 第5回検定委員会  
 1. 10月検定について  
 於 京都経済センター7C  
 一. 近団連第81回  
 きんきベスト100代表者会議  
 (中止)

編集後記

今年のそろばんグランプリジャパ  
 ン2023は、磯貝勇誠選手がシニ  
 ア部門で悲願のそろばん日本一、本  
 間聖康選手がよみあげ暗算で三度目  
 の日本一、を獲得されました。お2  
 人とも、誠におめでとございます。  
 今回は総勢10名の選手が京都府より  
 出場しました。本当におつかれさま  
 でした。



そろばんグランプリジャパン2023 京都府出場選手